



# GXの推進

GREEN TRANSFORMATION

GXとは、化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革や、その実現に向けた活動のことです。

化石燃料に頼らず、太陽光や水素など自然環境に負荷の少ないエネルギーの活用を進めることで二酸化炭素の排出量を減らそう、また、そうした活動を経済成長の機会にするために世の中全体を変革していこうという取り組みのことを「GX」と言っています。  
(経済産業省HPより)

令和6年1月19日 経済産業部産業革新局

1

## ① 全庁をあげたGXの推進（主な取組）

### 再生可能エネルギー等の導入促進

企業等の支援	補助金	・ 太陽光発電設備・蓄電池導入への助成	【経済産業部】
	普及啓発	・ 太陽光発電設備等共同購入支援	【経済産業部】
県有施設での取組		・ 奥野ダム、太田川ダムでの小水力発電 ・ 県庁舎での太陽光発電設備の利用	【交通基盤部】 【経営管理部】

### 脱炭素化に合わせた産業の振興

企業等の支援	補助金	・ 燃料電池バス、水素ステーションへの助成	【経済産業部】
	技術開発等支援	・ 企業脱炭素化支援センターによる支援	【経済産業部】
		・ 県管理港湾における脱炭素化の推進	【交通基盤部】

### 二酸化炭素の吸収源対策

企業等の支援	補助金等	・ 太陽光発電や森林等でのクレジット創出	【経済産業部】
	技術開発	・ ブルーカーボン・クレジット・クレジット申請支援	【経済産業部】
県有施設での取組		・ 県有林でのクレジット創出検討	【くらし・環境部】

### 徹底した省エネルギーの推進

企業等の支援	・ 省エネ機器導入やZEB化の助成	【くらし・環境部】
県有施設での取組	・ LED化、ZEB化	【経営管理部・交通基盤部ほか】

2

## ② 再生可能エネルギーの導入促進

### 太陽光発電設備・蓄電池導入への助成

補助対象者	県内中小企業等
対象事業	太陽光発電設備・蓄電池
補助額	【太陽光】4万円/kW 【蓄電池】6.3万円/kWh



89社に対し2.7億円助成  
→太陽光発電 6,460kW  
蓄電池 179kWh



### 太陽光発電設備等共同購入支援事業

事業手法	一括発注によるスケールメリットを活かし導入費用を低減
対象事業	太陽光発電設備・蓄電池

➔ **予算をかけず広報のみで事業効果**  
(1,348戸登録) をあげる新手法



住宅用・事業用  
100%削減  
災害時の停電対策にむく

**電気代が上がっている今だからこそ  
太陽光を賢く使うチャンス!**

グループパワーで、かしこくチョイス。未来へつなぐおトクな一歩。

28,700  
件突破

太陽光パネル 蓄電池 みんなで購入しませんか?  
静岡県民の皆様へ

全国トップクラスの日照量を持つ本県では、ご家庭や事業所等の屋根の上への太陽光発電設備の設置を推奨しています。蓄電池を組み合わせることで、さらに電気代の節約や災害に対する備えにつながります。地球にも優しいこの事業を一層に進めていきましょう。

静岡県知事 川勝平太

3

## ③ 水素エネルギーの活用

### 燃料電池バス導入への助成



補助対象者	バス事業者
対象事業	燃料電池バス導入費
補助額	対象経費の1/6 (上限1,925万円/台)

➔ 県内初となる水素利用の燃料電池バスを静岡市内の事業者が導入

### 水素ステーション整備への助成

補助対象者	水素ステーションの整備・運営事業者
対象事業	水素ステーション整備費
補助額	対象経費の1/6 (上限1億円)

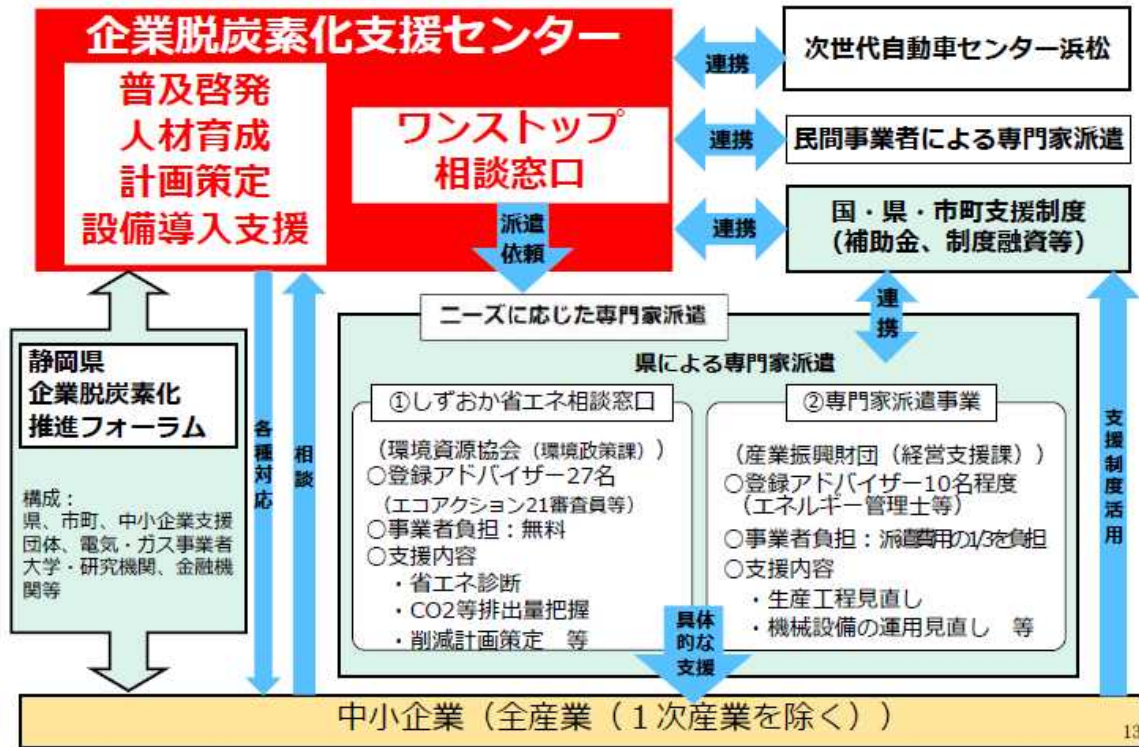
➔ **高速道路の休憩施設としては全国初**  
となる水素ステーションが足柄SAに開業



4

## ④ 企業の脱炭素化支援

### 企業脱炭素化支援センターによる支援



中小企業の脱炭素化に特化した支援機関は全国でもまれ

5

## ⑤ カーボンのクレジットの創出

### 森林分野での創出

- 3次元点群データの解析による吸収量算定
- 県営林 (下田市稲梓) でのクレジット認証取得



クレジットの発行・売却  
のりを県内へ普及



### 農業分野での創出

茶園

- ・ せん定枝条の土壌炭素貯留機能の解明
- ・ バイオ炭・石炭窒素活用

水田 (水稻)

- ・ 中干し期間延長によるクレジット創出
- ・ 収量等への影響を実証

J A 等と連携して県内農家へ普及

### 中小企業での太陽光発電による創出

- クレジットを創出する太陽光発電設備設置への補助
- 中小企業・経済団体等とコンソーシアム形成

県内への展開  
創出モデル作成



コンソーシアム設立会議 (R5.12.25)

### 海洋分野での創出

- 藻場面積や現存量の簡易評価手法等の開発
- 漁業者等による藻場増殖活動支援

ブルーカーボン・オセト・クレジット制度の利用支援



榛南海域のカジメ藻場

6

# 2050年カーボンニュートラル実現に向けて

カーボンニュートラル実現に向けた温室効果ガス排出量削減率 (2013年度比)



2050年カーボンニュートラル社会の実現  
本県での「環境と経済の好循環」の形成

